

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた試料・情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の試料・情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの試料・情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

肺がんにおける組織滞在型メモリー（TRM）様 CD8T 細胞分化機構の解明

1. 対象となる患者さん

2014年1月～2023年12月の間に肺がんと診断され、手術同意取得時の年齢が18歳以上75歳以下、当院にて肺がん病変の摘出を含む手術を施行し病理診断にて肺がんと確定された患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学 免疫学講座 伊藤 利洋

[理化学研究所生命医科学研究センター] [免疫記憶研究チーム] [高村史記]

3. 研究の目的と意義

がん抗原特異的 CD8T 細胞はがん細胞を認識・破壊することで抗腫瘍免疫において極めて重要な役割を担っています。中でも、粘膜上皮組織に定着する組織滞在型メモリー T 細胞（レジデントメモリー:TRM）と類似した性質を持つ TRM 様 CD8T 細胞は上皮系腫瘍細胞組織への接着・浸潤能に優れ、高い抗腫瘍活性を持つことが知られています。また、さまざまな腫瘍においても TRM 様 CD8T 細胞の浸潤が確認されており、その頻度は、予後及び抗 PD-1 抗体などのチェックポイント阻害療法（ICB）に対する反応性と相関するといわれています。TRM 様 CD8T 細胞は、CD8 陽性 T 細胞が組織浸潤後に局所の微小環境由来因子（抗原刺激やサイトカインなど）を受領することで TRM 様 CD8T 細胞へと分化しますが、がん組織局所にてどのようなシグナルが TRM 様 CD8T 細胞の分化を誘導しているのかは不明です。

本研究では肺がん手術検体におけるパラフィン組織切片から腫瘍内における CD8T 細胞浸潤と TRM 様 CD8T 細胞の分化を評価し、臨床データとの関連を解析します。また、空間トランスクリプトームなど局所遺伝子発現プロファイルを調べることで、TRM

様 CD8T 細胞分化誘導に関わる局所微小環境の特徴を明らかにします。

この研究の成果は、高額ながん免疫療法の治療効果・予後の予測だけでなく、いまだ不明な点が多い、がん組織における TRM 様 CD8T 細胞分化機構の理解に繋がることが期待されます。

4. 研究の方法

5. に示す試料・情報を対象の患者さんのカルテから収集します。試料は免疫組織染色、空間トランスクリプトーム解析を行い、これらの結果と臨床データとの関連を解析します。

5. 使用する試料・情報

試料：手術で摘出した肺がん組織（肺がんを含む摘出検体から病理専門医が病理診断のために採取し、ホルマリン固定、パラフィン包埋した組織）

情報：臨床情報（患者背景、病歴、治療歴、検査結果 等）

6. 試料・情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

〔 理化学研究所生命医科学研究センター 〕〔 生命医科学研究センター長 〕

7. 研究の実施体制

研究代表者

奈良県立医科大学 免疫学講座 伊藤 利洋

当院の研究責任者

奈良県立医科大学 免疫学講座 伊藤 利洋

共同研究機関と研究責任者

共同研究機関：理化学研究所生命医科学研究センター

研究責任者：高村 史記

8. 外部機関への情報等の提供

この研究で使用する試料・情報を共同研究機関（理化学研究所生命医科学研究センター）と共有して研究を行います。共有する際は、患者さんのお名前等は削除し、個人を直接特定できないようにします。

提供方法：試料（組織切片）はスライドグラスに付着させ郵送、情報は電子的配信

また、この研究で使用する試料を空間トランスクリプトーム解析のために海外の Nanostring 社（アメリカ）に提供します。提供する際は、試料をスライドグラスに貼り付

けた状態で送付し、個人情報に含まれません。

共同研究機関：理化学研究所生命医科学研究センター（日本）

研究責任者：高村 史記

業務委託機関：Nanostring 社（アメリカ）

提供する項目：組織切片

提供方法：スライドグラスに付着させ郵送

<提供先の個人情報保護に関する情報>

- アメリカ合衆国における個人情報の保護に関する制度について
アメリカ合衆国には、個人情報保護制度があります。その内容については、個人情報保護委員会の WEB ページをご覧ください。

https://www.ppc.go.jp/enforcement/infoprovision/laws/offshore_report_america/

また、アメリカ合衆国は、CBPR（アジア太平洋経済協力 APEC の越境プライバシールール）に加盟しています。

- 提供先が講ずる個人情報の保護のための措置について
理化学研究所生命医科学研究センターが講ずる個人情報の保護のための措置については、理化学研究所ホームページ、プライバシーポリシー（<https://www.riken.jp/privacy/>）に掲載の通りです。

9. 研究期間

研究機関長の実施許可日（2024年4月1日）～2028年3月31日

10. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

11. お問い合わせ先

奈良県立医科大学 免疫学講座 王寺 典子

住所：奈良県橿原市四条町 840 番地

電話：0744-22-3051

e-mail：osage@naramed-u.ac.jp

〔 理化学研究所生命医科学研究センター 〕〔 免疫記憶研究チーム 〕〔 高村史記 〕
〔 230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町 1-7-22 〕

[045-503-7309]

[shiki.takamura@riken.jp]